

関連項目：教育活動プラン④

縦割り班活動とコミュニティスクールの取り組みで人とつながる

目的

本校は、自分のよいところに気づいていない児童が多く、主体的に行動できる児童が少ない傾向があります。そこで、縦割り班を編制し、異年齢集団での行事に取り組んだり、遊んだりする機会を設けました。またコミュニティスクールとしての取り組みやPTA活動を通して自尊感情を育てています。

内容

● 縦割り班の編制

同年齢集団である学級だけでなく、縦割り班のように異年齢で活動する場面があると、やさしくされたり頼りにされたりすることが増え、自尊感情が育ちます。本校では縦割り班を4月に編制し、これを単位とした活動を行っています。各学年2～3名、1年生から6年生までの全学年で構成される26の縦割り班を組織し、年間を通して様々な場面で活動します。

定期的なものとして、月1回、朝の活動の時間に「ふれあいタイム」を行っています。各班で4月に5～2月の遊びの計画を立て、自分たちで準備をして、遊んでいます。ドッジボールやドッジビー、けいどろ等が人気です。

● ふれあい遠足・クリーン活動

ふれあい遠足は、児童が異学年の縦割りグループごとに分かれ、校区内の史跡や寺社を訪ね、ふるさとを知り大切にしたい気持ちを高めることを目的として行いました。児童は地域の方々から、史跡や寺社の



地域の人とのふれあい(ふれあい遠足で)



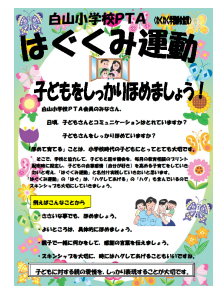
クリーン活動の感想

由来やいわれ、人物の業績などについて聞きました。普段生活している中では知ることができない地域の歴史や文化にふれ、ますます白山校区を身近に感じることができたと考えています。また、異年齢集団の中でのつながりを深めることができ、それぞれの集団としての所属感や連帯感を深めたり、自分のよさを見つけたりすることにつながりました。地域の方々に支えられているということを改めて学んだ児童も多かったようです。

校区クリーン活動は、学校の周辺や通学路、校区内の施設等の清掃活動を行うことで、自分たちの住む地域を大切にしようとする心を育てることを目的として、行ってきました。地域の方々とのつながりを感じて活動することができました。

● はぐくみ活動

PTA活動では、はぐくみ活動を始めました。親子でしっかり向かい合い、子どもの話を聞き、よさやがんばりをほめる取組です。毎月一回の教育相談日の申し込みプリントに、児童ががんばっていることやうれしかったことを書いてお家の人に知らせ、それをきっかけに家庭で子どもをほめてもらったり、スキンシップをとってもらったりすることにしました。「はぐくみ運動」の【はぐ】は「hug(ハグ)-抱きしめること-」の意味も含んでいます。



成果

こうした取組をすることで、学年を超えてのつながりができています。また地域のことをよく知り、地域の人とのつながりができた児童も多くいます。児童を対象に行った学校生活アンケートでは、「自分のことが好きだ」は約76%から約80%と+4ポイント増えました。上記のような活動の効果が出ていると考えています。その他の活動においても活躍の機会や表現の機会、友だちや教師に認められる機会を大切にして、自尊感情が育つように意識して、教育活動を行っています。